

# SIO\_8bit\_TRANS

## 1. 動作概要

PCのターミナルソフトからのコマンド入力(UART経由)により1バイトのテストデータを送信する。

## 2. 各設定

<u>SIO</u>	: SO1(Port90) : SCLK1(Port92)	
<u>UART</u>	: TXD2(Port93) : RXD2(Port94)	
<u>転送選択エッジ</u>	: default = 立上りエッジでデータの受信、立下りエッジでデータの送信 main.c : "#define SIO_SEL_EDGE"の値を変えることで転送選択エッジを変更できます。	
<u>シリアルクロックの選択[Hz]</u>	: default = fcgck/2^9 main.c : "#define SIO_SCLK"の値を変えることでシリアルクロックを変更できます。	
<u>転送フォーマット(MSB/LSB)の選択</u>	: default = LSBファースト main.c : "#define SIO_TRANS_FORMAT"の値を変えることで転送フォーマット(MSB/LSB)を変更できます。	
<u>転送モードの選択</u>	: 8ビット送信モード	
<u>コマンド一覧</u>	: write	テストデータを送信する
<u>シリアルポート設定</u>	ボーレート データ パリティ ストップ フロー制御	: 115200(bps) : 8(bit) : なし : 1(bit) : なし

## 3. 基本動作

ターミナルソフトにて“write”コマンドを入力すると、  
20ms周期で1バイトのテストデータを出力する。  
(テストデータ : 0x00-0xFFを1ずつカウントアップした値)

ターミナルソフト表示例

```
SIO Sample Program
-----
Command> write
```

## 4. 特記事項

特になし